人形芝居公演

令和3年度文化庁文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）
古典の日制定記念

津久田人形操作伝承委員会桜座
「絵本太功記　十段目　尼ヶ崎の段」

八城人形浄瑠璃城若座
「玉藻前曦袂　道春館の段」

令和4年
1/29土

13:00開演
（12:15開場）

会場
安中市文化センター
（安中市安中3丁目9-63）

入場無料　先着380名（1月20日[木]まで受付）
往復ハガキ（1枚につき1名様）にて事前申込み
詳しくは裏面をご覧ください。

問合せ　群馬県教育文化事業団　TEL 027-224-3960

※本事業は「新型コロナウイルス感染症に係る県主催イベント等実施ガイドライン」に則って開催いたします。検温・手指の消毒・マスク着用等にご協力をお願いいたします。
※ライブ配信を行うため、写真・動画の撮影はご遠慮ください。

群馬県教育文化事業団
YouTube「ぐんまアーツ」にてライブ配信します
（申込み不要・無料）
ぐんまアーツ YouTube　検索
ぐんまアーツ

［主催］群馬歴史文化遺産発掘・活用・発信実行委員会（実施：公益財団法人群馬県教育文化事業団）
［協力］NPO法人ぐんま郷土芸能助っ人塾
［後援］群馬県　群馬県教育委員会　安中市　安中市教育委員会　ぐんま人形芝居連絡協議会　上毛新聞社　朝日新聞社前橋総局　毎日新聞前橋支局　読売新聞前橋支局　産経新聞前橋支局　東京新聞前橋支局　共同通信社前橋支局　時事通信社前橋支局　NHK前橋放送局　FMGUNMA　群馬テレビ株式会社

古典の日制定記念　人形芝居公演

つくだにんぎょうそうさでんしょういいんかいさくらざ
津久田人形操作伝承委員会桜座（渋川市）

津久田の人形芝居は、三人遣いの人形で、一体の人形を三人で操ります。「主遣い」は左手を人形の背中から入れて頭を、右手で人形の右手を操り、「左遣い」は人形左手を右手で操ります。「足遣い」は両手で人形の両足を操ります。文楽系の人形といわれていますが、頭の表情、特に男頭の表情は現在の文楽の頭の分類に当てはまらないものが見られます。昭和58年群馬県重要有形民俗文化財に指定されました。

絵本太功記　十段目　尼ヶ崎の段

我が子武智光秀の謀反を許せない母・皐月が暮らす尼ヶ崎の閑居に、光秀の妻・操が息子・十次郎の許嫁の初菊と訪れます。十次郎も出陣のあいさつにやって来て、初菊と祝言を挙げて出陣します。折から旅僧に扮した真柴久吉が一夜の宿を求めて来ますが、物陰には久吉の正体を見破った光秀がいました。光秀は風呂に入ろうとする久吉を竹槍で突きますが、刺されたのは皐月でした。皐月はわざと光秀の手にかかったのでした。程なく周囲は敵に囲まれ、久吉と光秀は天王山での勝負を約します。

やしろにんぎょうじょうるりしろわかざ
八城人形浄瑠璃城若座（安中市）

八城人形浄瑠璃は、宝永8（1711）年に小幡藩の圧政に苦しむ村を救った８人の名主の高恩に報いるため上演されたのが起源です。文楽の流れをくむ三人遣いの人形で、ひとたび操作が始まると、あたかも生きているかのごとくに豊かな情感が表現されます。平成10年安中市重要無形文化財に指定されました。

玉藻前曦袂　道春館の段

薄雲皇子は、鳥羽天皇の兄でありながら皇位につけなかったことを恨み、神器にあたる獅子王の剣を右大臣・道春の館から盗ませます。さらに、道春の姉娘である桂姫に思いを寄せ結婚を迫りますが、桂姫の恋人・阿部采女之助に追い払われてしまいます。道春の妻・萩の方は獅子王の剣の詮議を采女之助に依頼しますが、そこへ結婚を断られて腹を立てた薄雲皇子の使者・鷲塚金籐次が乗り込み、獅子王の剣を差し出すか桂姫の首を渡すか二者択一を迫ります。萩の方は、桂姫が拾い子であることをうち明け、実娘・初花姫と双六の勝負で負けた方の首を討つように金籐次に頼みます。双六と勝負をし初花姫が負けましたが、何を思ったか金籐次は桂姫の首を斬ってしまいます。怒った萩の方と采女之助が金籐次を刺すと、金籐次は桂姫が自分の娘であること、獅子王の剣も自分が盗んだことを告げて息絶えます。若い二人の娘が互いを思いやる健気さや、実子と区別することのない萩の方の心情が第一の見所です。

お申し込み方法

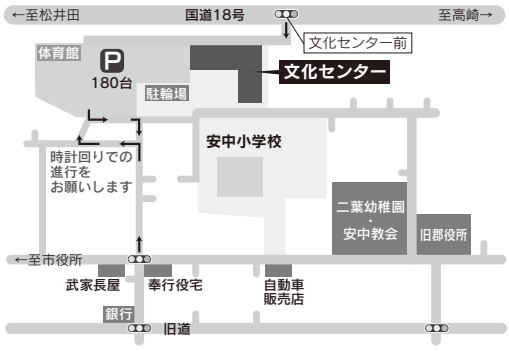
お一人様につき１枚、「往復ハガキ」にてお申し込みください。

1月20日［木］まで受付 ※定員になり次第、受付終了

往信　（宛先）〒371-0801　前橋市文京町2-20-22
群馬県教育文化事業団「人形芝居公演」係 あて
（裏面）観覧希望者様の ①住所 ②氏名 ③電話番号 を記載

返信　（宛先）観覧希望者様の ①住所 と ②氏名 を記載
（裏面）何も書かないでください。
後日ご来場に当たっての注意事項や健康状態申告書等を記載し、返信いたします。

安中市文化センターご案内



信越本線「安中駅」から徒歩約25分
高崎ICから約15km（約32分）／松井田妙義ICから約13km（約25分）

● 古典の日とは

国民が広く古典の意義を再認識し、古典に親しむ機会を増やそうと平成24年に古典の日（11月1日）が制定されました。

群馬県教育文化事業団では平成26年度から人形芝居に特化した「古典の日制定記念 人形芝居公演」を開催しています。

［ 注意事項 ］

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、下記を了承の上、ご参加ください。

1. 当日、所定の用紙にて、体温等の健康状態を受付で申告いただきます。体温が37.5℃以上ある等、健康状態によっては、入場をお断りする場合があります。
2. 来場者に感染者が出た場合、保健所の聞き取り調査へのご協力をお願いします。
3. 濃厚接触者となった場合は、14日間を目安に自宅待機をお願いすることがあります。
4. マスク着用の上、ご来場ください。ご協力いただけない場合、入場をご遠慮いただきます。
5. 出演者へのプレゼントはお断りさせていただきます。
6. 手洗い、手指のアルコール消毒等をお願いいたします。
7. 開催内容が予告なく変更または中止となる場合があります。
変更が生じた場合は群馬県教育文化事業団ホームページでご案内いたしますので、必ずご確認の上、ご来場ください。
（https://www.gunmabunkazigyodan.or.jp/）
8. 当日の公演の様子をYouTubeチャンネル「ぐんまアーツ」にてライブ配信し、また後日、アーカイブ配信いたします。

［教育文化事業団HP］